

# 令和4年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立両国中学校
校長名	渋谷 俊昌

## 1 本校の学力に関する状況

### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年全教科において、平均正答率が全国平均を上回っていた。</li> <li>・領域別の正答率においては、目標値を上回っている教科が多かった。</li> <li>・標準スコアにおいても、全国値を全学年全教科上回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用の観点においては平均値を上回っているが、その差があまりない教科もいくつかあった。</li> <li>・国語と理科の領域別正答率の観点で全国平均を下回る観点があった。</li> <li>・平均正答率の前年度との比較において、2年数学、英語のみが、前年度を上回る結果にとどまった。</li> </ul>

### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対して肯定的な回答をしている生徒の割合が高く、全国平均を上回ることが多い結果となった。</li> <li>・学校以外での学習時間が、2時間以上と答えている生徒が多く、全国の平均も上回っていた。</li> <li>・読書に関する意識が高く、月に2～3冊とこちらも全国平均を上回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習や復習をすることに関しての結果が、全国平均を下回り、振り返りの学習に対しての意欲が低いことが明らかになった。</li> <li>・週に何日学習するかという問いに対して、ほぼ毎日と答えた生徒が多いが、全国の平均よりは8%下回っていた。</li> </ul>

### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習教室、夏季学習教室などへの積極的な参加</li> <li>・各種検定への積極的な受検</li> <li>・朝学習等での振り返りシートの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの活用について 授業等でタブレットを活用し、学習などに生かしているが、個人での使い方に問題があり指導されるケースが増え、持ち帰りなどにも問題が起こっている。</li> <li>・家庭学習の充実 家庭学習として、各教科で課題を出しているが、提出率であったり、期日を守るということにおいて、課題が残っている。</li> </ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 指導と評価の一体化を目指し、評価規準・基準を明確にした授業の展開

今年度の校内研修テーマとして掲げている「指導と評価の一体化」、「評価規準・基準を明確にした授業」を元に校内研修を行っていく。その一環として、研究授業を国語・理科・美術で行い、授業内容の研修を行った。他教科の教員も研究テーマを元に授業公開を行い、学校全体として授業改善を目指していく。さらにそこから、規準・基準が明らかになっていくよう、教員間での意見交換や反省、改善を繰り返し行っていくことで学力向上につなげていく。

意識調査の中で、好きな教科や授業があると肯定的に答えた生徒の割合が、全学年90%を越えていたこともあり、学習に対しての肯定的な考えを伸ばしながら、主体的に取り組ませていくことが更なる意欲の向上につながっていくと考える。

### (2) 見通しをもった授業、学習習慣の確立

確かな学力の定着や更なる向上を目指していくために、授業においては、前時の復習を行っていく、さらに単元毎に小テストなどを実施し、見通しをもたせながら授業を行っていく。また、タブレットを活用し、ロイロノートでの意見の共有を行ったり、レポートなどの提出を家庭学習の一環として取り組ませていく。それらを習慣化していくことで家庭学習が充実するとともに、学習習慣の確立につながっていくと考えている。

定期考査の3週間前から各教科の試験範囲を提示し、学習計画を立てるよう指導している。教科ごとの目標を立てさせ、提出物の期限を確認し、「いつまでに、何を行うのか」を明確にさせ、計画表に記入させている。計画表は毎日記入し見える形で記録を残していく。その際に担任からの助言など、個に応じた指導を行うことで、先を見通す力の育成及び課題として挙げられる家庭学習の習慣化にもつなげていきたい。

### (3) 基礎・基本の定着

毎年課題として挙げられる「DE層の減少」のために、基礎・基本の定着を図りたい。授業以外の学習の場として、週2回放課後1時間程度、「両中アカデミー」の開設をしている。毎回、学年を問わず、平均して10人以上参加しており意欲的な姿が見られる。また、各学年で定期考査前には放課後学習教室、夏休みには夏季学習教室を実施している。どの学年も多くの生徒が参加し、主体的に学習できているので、継続して実施していく。

また、各種検定試験についても、校内で実施し、それに向けての対策講座や面接対策を行っている。その効果もあり、生徒の合格率も向上している。

## 3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・全教科のDE層を20%以内に減少（今年度達成できていた教科については15%以内を目指す）
- ・全教科のAB層を合計65%以上にする
- ・標準スコアの経年比較での向上を目指す